

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
における医療体制調査
報 告 書

2016年3月

公益社団法人 福岡県医師会

公益財団法人 福岡県メディカルセンター 保健・医療・福祉研究機構

目 次

はじめに	1
------	---

I 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）調査結果

1. 地域密着型の状況	2
2. 従業員数	3
3. 平均要介護度の状況	3
4. 配置医師数の状況	4
5. 配置医師への電話相談状況	4
6. 往診の状況	6
7. 夜間の看護師の配置状況	7
8. 感染対策マニュアルの作成状況	8
9. 看取りの状況	8
10. 医学的処置の対応状況	9
(胃瘻・経鼻栄養・導尿カテーテル・人工肛門・インスリン注射・MRSA ・疥癬・日中の吸引・夜間の吸引・点滴・CVC・人工透析・在宅酸素 ・医療用麻薬・人工呼吸器・褥瘡)	

II 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）配置医師調査結果

1. 記述統計	17
2. 1週間の訪問回数	18
3. 契約形態	18
4. 所属施設	19
5. 継続意向	19

〈参考資料〉

施設用アンケート用紙	20
配置医師用アンケート用紙	23

はじめに

特別養護老人ホームは昭和 38 年制定の老人福祉法によって制度化された。当初、入所対象として、身体、精神上の障害のため常に介護が必要であるが家族の介護が困難なケース等が想定されていた。しかし現実には自立に近い方が多く入所していたのが実態であった。

その後、平成 12 年に介護保険が施行されたのに伴い、要介護 1 以上が特別養護老人ホームの入所要件となった。しかし、経過措置により、しばらくの間は要介護認定において自立や要支援と認定された方も入所していた。結果、平成 12 年度の特別養護老人ホームの平均要介護度は 3.35 であった。その後、入所者の要介護度は徐々に高くなり、平成 26 年より原則として要介護 3 以上の方しか入所できなくなった。要介護認定が厳しくなっている現状の中にあっても、平成 23 年の入所者の平均要介護度は 3.89 まで上昇している。

さて、特別養護老人ホームには配置医師が必要とされているが、現在、その職務は「健康管理」「定期健康診断、予防接種」「疾病の早期発見、予防等健康保持」となっている。これは前述のように特別養護老人ホームの制度ができた当初、入所者に自立者が多かったという実態に対応したものである。一方、現状では要介護 3 以上しか入所できず、施設内での看取りまで行うことが要求されている。要介護 3 以上の方には常時の医師による治療が必要な場合が多く、看取りともなれば医師に 24 時間 365 日の対応が求められる。現状の医師の業務範囲は上述のものとは全く違う実態となっており、頻回の急変の報告、指示が必要なことも多く、休日夜間の往診も求められている。

こうした実態があるにも関わらず、配置医師は診療を行っても初診料、再診療、各種指導料を算定できない。昭和 38 年の特別養護老人ホーム制度化当初から入所者像は著しく変貌しているにも関わらず、制度はほとんど変更されていないため、多くの矛盾が生じている。その現状を把握する必要があると考えたが、その時点において配置医師に関する制度上の仕組みと実態とのギャップに関する全県下にわたる調査は見当たらなかった。

そこで、現状の配置医師の実態、施設内で行っている医療行為、勤務形態、処遇などについてアンケート調査を行ったのでその結果を報告する。

アンケートは特別養護老人ホームへのものと配置医師へのものの二通りを実施した。調査期間は平成 27 年 8 月から 9 月にかけて実施した。福岡県内には特別養護老人ホームは 365 施設あり全施設に送付した。施設方の回答率は 56.2% (205)、配置医師の回答率は 41.0% (213) であった。

2016 年 3 月

I 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）調査報告

1. 地域密着型の状況

二次医療圏	地域密着型施設		総計
	対象	非対象	
福岡・糸島	7	35	42
糟屋	2	5	7
宗像	2	4	6
筑紫	3	5	8
朝倉		6	6
久留米	7	12	19
八女・筑後	1	9	10
有明		16	16
飯塚	2	12	14
直方・鞍手		4	4
田川		8	8
北九州	13	36	49
京築	2	12	14
無記入		2	2
総計	39	166	205

地域密着型対象施設が見られるものの、非対象の施設の方が多く見られた。施設自体は各医療圏に配置されていた。

※地域密着型特別養護老人ホーム

2006年の介護保険法改正に伴い新設された地域密着型サービスの一つである。設置には、まず老人福祉法にもとづき都道府県又は中核市の設置認可を受ける。つぎに介護保険法による事業者の指定を市町村から受ける。この施設は広域型の大規模な老人ホームではなく、入所定員が29名以下の小規模な施設で、原則として施設がある市町村に居住する人だけに利用が限定される。提供されるサービスの内容は、特別養護老人ホームと同じで、地域密着型サービス計画に基づいて、入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話が行われる。なお要支援1・2の人は利用することができない。

2. 従業員数

二次医療圏	従業員数					総計
	30人未満	30～50人未満	50～80人未満	80人以上	無記入	
福岡・糸島	6	10	21	4	1	42
糟屋	2	5				7
宗像	1	3	2			6
筑紫	2	1	3	2		8
朝倉	1	5				6
久留米	3	11	5			19
八女・筑後	2	5	3			10
有明	3	8	5			16
飯塚	4	8	2			14
直方・鞍手	1	2	1			4
田川	2	4	2			8
北九州	12	9	25	3		49
京築	4	8	2			14
無記入	1	1				2
総計	44	80	71	9	1	205

従業員数では、80人未満の施設が約95%であった。最も多かったのは、30～50人未満の施設であった。

3. 平均要介護度の状況

二次医療圏	平均要介護度						総計
	2.5未満	2.5～3.0	3.0～3.5	3.5～4.0	4.0以上	無記入	
福岡・糸島	1	1	4	19	16	1	42
糟屋			1	4	2		7
宗像			1	4	1		6
筑紫			2	1	4	1	8
朝倉				3	2	1	6
久留米			2	4	12	1	19
八女・筑後			2	5	3		10
有明		1	2	7	6		16
飯塚		1	3	9		1	14
直方・鞍手	1			3			4
田川		1	3	3		1	8
北九州		1	15	16	14	3	49
京築		2	7	4	1		14
無記入				1	1		2
総計	2	7	42	83	62	9	205

最も多いのが、平均要介護度3.5～4.0の施設であった。4.0以上の施設も多く見られた。

4. 配置医師数の状況

二次医療圏	配置医師数						総計
	1	2	3	4	5	無記入・その他	
福岡・糸島	25	13	3	1			42
糟屋	4	3					7
宗像	5	1					6
筑紫	4	2		2			8
朝倉	4	2					6
久留米	10	7	1			1	19
八女・筑後	7	2			1		10
有明	13	3					16
飯塚	13	1					14
直方・鞍手	4						4
田川	4	3				1	8
北九州	40	7	1			1	49
京築	11		2		1		14
無記入	2						2
総計	146	44	7	3	2	3	205

配置医師数は全施設で5人以下であった。配置医師が1人の施設が最多であった。

《注》

常勤換算としていないために、延べ人数で回答している施設も存在している。

5. 配置医師への電話相談状況

二次医療圏	日中の電話相談			総計
	対応可	条件付	対応不可	
福岡・糸島	36	3	3	42
糟屋	4	3		7
宗像	5	1		6
筑紫	7		1	8
朝倉	6			6
久留米	19			19
八女・筑後	9	1		10
有明	16			16
飯塚	14			14
直方・鞍手	4			4
田川	8			8
北九州	45	3	1	49
京築	14			14
無記入	1	1		2
総計	188	12	5	205

二次医療圏	夜間の電話相談				総計
	対応可	条件付	対応不可	無記入	
福岡・糸島	22	13	6	1	42
糟屋	1	6			7
宗像	4	1	1		6
筑紫	7		1		8
朝倉	6				6
久留米	12	4	3		19
八女・筑後	9	1			10
有明	14	1	1		16
飯塚	8	1	5		14
直方・鞍手	2		2		4
田川	5		3		8
北九州	35	5	9		49
京築	12	2			14
無記入	1	1			2
総計	138	35	31	1	205

二次医療圏	休日の電話相談				総計
	対応可	条件付	対応不可	無記入	
福岡・糸島	23	10	8	1	42
糟屋	1	6			7
宗像	4	1	1		6
筑紫	7		1		8
朝倉	6				6
久留米	13	3	3		19
八女・筑後	9	1			10
有明	14	1	1		16
飯塚	8	1	5		14
直方・鞍手	3		1		4
田川	4	1	3		8
北九州	35	5	9		49
京築	13	1			14
無記入	1	1			2
総計	141	31	32	1	205

基本的に、日中、夜間、休日と配置医師が対応可能である施設が多くみられた。日中でも対応が不可と回答している施設も少なからず存在していた。

6. 往診の状況

二次医療圏	日中の往診				総計
	対応可	条件付	対応不可	無記入	
福岡・糸島	23	8	10	1	42
糟屋	1	5	1		7
宗像	2	3	1		6
筑紫	4	2	2		8
朝倉	5			1	6
久留米	8	7	3	1	19
八女・筑後	8	2			10
有明	12		4		16
飯塚	7	3	4		14
直方・鞍手	4				4
田川	1	1	4	2	8
北九州	28	8	13		49
京築	10	4			14
無記入	1	1			2
総計	114	44	42	5	205

二次医療圏	夜間の往診				総計
	対応可	条件付	対応不可	無記入	
福岡・糸島	16	10	13	3	42
糟屋		6	1		7
宗像	2	3	1		6
筑紫	2	4	2		8
朝倉	4		1	1	6
久留米	5	7	6	1	19
八女・筑後	8	2			10
有明	9	2	5		16
飯塚	5	3	6		14
直方・鞍手	2		2		4
田川	2		4	2	8
北九州	20	8	21		49
京築	7	6	1		14
無記入			2		2
総計	82	51	65	7	205

二次医療圏	休日の往診				総計
	対応可	条件付	対応不可	無記入	
福岡・糸島	17	9	13	3	42
糟屋		6	1		7
宗像	2	3	1		6
筑紫	2	4	2		8
朝倉	3		1	2	6
久留米	5	8	5	1	19
八女・筑後	8	2			10
有明	9	1	6		16
飯塚	5	2	7		14
直方・鞍手	2		2		4
田川	1	1	4	2	8
北九州	20	8	21		49
京築	8	6			14
無記入			2		2
総計	82	50	65	8	205

往診については、日中、夜間、休日ともに、電話相談よりも少なくなっているが、往診対応可能な施設が最も多かった。

7. 夜間の看護師の配置状況

二次医療圏	夜間の看護師の配置			総計
	配置有	オンコール	配置無	
福岡・糸島	1	41		42
糟屋		7		7
宗像		6		6
筑紫	2	5	1	8
朝倉		6		6
久留米		19		19
八女・筑後	1	9		10
有明		16		16
飯塚	1	13		14
直方・鞍手		3	1	4
田川		7	1	8
北九州	3	43	3	49
京築		13	1	14
無記入		2		2
総計	8	190	7	205

夜間の看護師については、オンコールの施設がほとんどであった。夜間になると医療者がいない施設が多くなっている状況から、配置医師の対応や往診を求める可能性が高くなることが想定される。

8. 感染対策マニュアルの作成状況

二次医療圏	感染対策マニュアルの作成状況					総計
	協力有で作成	協力無で作成	詳細不明で作成	作成無	無記入	
福岡・糸島	22	18	1		1	42
糟屋	2	5				7
宗像	5	1				6
筑紫	7	1				8
朝倉	4	2				6
久留米	11	6	2			19
八女・筑後	6	3	1			10
有明	11	4	1			16
飯塚	12	2				14
直方・鞍手	3	1				4
田川	5	2		1		8
北九州	28	19	2			49
京築	10	3		1		14
無記入		2				2
総計	126	69	7	2	1	205

ほとんどの施設でマニュアルが作成されており、多くは配置医師の協力のもと作成されていた。その一方で作成されていない施設も2施設見られた。

9. 看取りの状況

二次医療圏	看取りの状況		総計
	有	無	
福岡・糸島	30	12	42
糟屋	6	1	7
宗像	4	2	6
筑紫	4	4	8
朝倉	4	2	6
久留米	17	2	19
八女・筑後	6	4	10
有明	9	7	16
飯塚	8	6	14
直方・鞍手	2	2	4
田川	4	4	8
北九州	33	16	49
京築	10	4	14
無記入		2	2
総計	137	68	205

多くの施設で、看取りが実施されていた。今回の調査では、看取りの時間帯や配置医師への業務負荷については調査できていないが、今後、配置医師の負担感も含めた追加調査等も必要と考える。

10. 医学的処置の対応状況

二次医療圏	胃瘻			総計
	対応可	応相談	不可	
福岡・糸島	38	3	1	42
糟屋	6	1		7
宗像	4	1	1	6
筑紫	6	1	1	8
朝倉	5	1		6
久留米	16	3		19
八女・筑後	8	1	1	10
有明	15	1		16
飯塚	12	2		14
直方・鞍手	2	1	1	4
田川	5	3		8
北九州	31	12	6	49
京築	9	2	3	14
無記入	1	1		2
総計	158	33	14	205

二次医療圏	経鼻栄養				総計
	対応可	応相談	不可	無記入	
福岡・糸島	10	9	22	1	42
糟屋			7		7
宗像	2	1	3		6
筑紫	2		6		8
朝倉	3	2	1		6
久留米	8	5	6		19
八女・筑後	2	2	6		10
有明	8	1	6	1	16
飯塚	4	1	9		14
直方・鞍手		1	3		4
田川	2	3	2	1	8
北九州	4	5	39	1	49
京築	4	2	8		14
無記入			1	1	2
総計	49	32	119	5	205

二次医療圏	導尿カテーテル				総計
	対応可	応相談	不可	無記入	
福岡・糸島	26	13	3		42
糟屋	3	3	1		7
宗像	4	2			6
筑紫	3	2	3		8
朝倉	3	3			6
久留米	12	5	2		19
八女・筑後	6	3	1		10
有明	12	3	1		16
飯塚	11	2		1	14
直方・鞍手	3		1		4
田川	6	2			8
北九州	19	22	8		49
京築	10	3	1		14
無記入	1	1			2
総計	119	64	21	1	205

二次医療圏	人工肛門			総計
	対応可	応相談	不可	
福岡・糸島	23	18	1	42
糟屋	4	2	1	7
宗像	4	2		6
筑紫	3	3	2	8
朝倉	4	2		6
久留米	10	8	1	19
八女・筑後	6	3	1	10
有明	11	3	2	16
飯塚	12	2		14
直方・鞍手	2	2		4
田川	7	1		8
北九州	33	11	5	49
京築	9	4	1	14
無記入	1	1		2
総計	129	62	14	205

二次医療圏	インスリン注射			総計
	対応可	応相談	不可	
福岡・糸島	22	16	4	42
糟屋	1	6		7
宗像	4	2		6
筑紫	3	1	4	8
朝倉	3	2	1	6
久留米	13	6		19
八女・筑後	3	6	1	10
有明	8	7	1	16
飯塚	12	2		14
直方・鞍手	2	1	1	4
田川	7	1		8
北九州	16	28	5	49
京築	7	6	1	14
無記入	1	1		2
総計	102	85	18	205

二次医療圏	MRSA			総計
	対応可	応相談	不可	
福岡・糸島	19	16	7	42
糟屋		3	4	7
宗像	4	2		6
筑紫	2	4	2	8
朝倉	2	3	1	6
久留米	6	9	4	19
八女・筑後	4	4	2	10
有明	7	5	4	16
飯塚	3	8	3	14
直方・鞍手		4		4
田川	1	1	6	8
北九州	12	28	9	49
京築	7	3	4	14
無記入			2	2
総計	67	90	48	205

二次医療圏	疥癬			総計
	対応可	応相談	不可	
福岡・糸島	14	15	13	42
糟屋	2	1	4	7
宗像	2	4		6
筑紫	2	1	5	8
朝倉	3	2	1	6
久留米	4	6	9	19
八女・筑後	2	6	2	10
有明	7	6	3	16
飯塚	3	7	4	14
直方・鞍手		4		4
田川	3	2	3	8
北九州	10	22	17	49
京築	4	7	3	14
無記入		1	1	2
総計	56	84	65	205

二次医療圏	日中の吸引				総計
	対応可	応相談	不可	無記入	
福岡・糸島	36	6			42
糟屋	5	1	1		7
宗像	4	2			6
筑紫	5	3			8
朝倉	4	2			6
久留米	18	1			19
八女・筑後	9	1			10
有明	15			1	16
飯塚	9	4	1		14
直方・鞍手	2	2			4
田川	4	3	1		8
北九州	36	11	2		49
京築	11	3			14
無記入	1	1			2
総計	159	40	5	1	205

二次医療圏	夜間の吸引				総計
	対応可	応相談	不可	無記入	
福岡・糸島	9	15	18		42
糟屋		3	4		7
宗像		4	2		6
筑紫	2	3	3		8
朝倉	1	2	3		6
久留米	4	4	10	1	19
八女・筑後	2	4	4		10
有明	7	3	6		16
飯塚	3	8	3		14
直方・鞍手	2		2		4
田川	3	1	4		8
北九州	8	17	24		49
京築	5	6	3		14
無記入			2		2
総計	46	70	88	1	205

二次医療圏	点滴			総計
	対応可	応相談	不可	
福岡・糸島	14	15	13	42
糟屋	2	4	1	7
宗像	4	1	1	6
筑紫	5		3	8
朝倉	2	3	1	6
久留米	10	7	2	19
八女・筑後	4	3	3	10
有明	8	3	5	16
飯塚	5	3	6	14
直方・鞍手	2	1	1	4
田川	2	5	1	8
北九州	10	23	16	49
京築	10	2	2	14
無記入		2		2
総計	78	72	55	205

二次医療圏	CVC			総計
	対応可	応相談	不可	
福岡・糸島	2	6	34	42
糟屋			7	7
宗像		1	5	6
筑紫			8	8
朝倉			6	6
久留米		4	15	19
八女・筑後		1	9	10
有明		3	13	16
飯塚			14	14
直方・鞍手		1	3	4
田川	1		7	8
北九州		6	43	49
京築	1	2	11	14
無記入		1	1	2
総計	4	25	176	205

二次医療圏	人工透析			総計
	対応可	応相談	不可	
福岡・糸島	5	20	17	42
糟屋		1	6	7
宗像	1	4	1	6
筑紫		2	6	8
朝倉	1		5	6
久留米	1	6	12	19
八女・筑後	1	4	5	10
有明		4	12	16
飯塚	1	4	9	14
直方・鞍手		3	1	4
田川	2	3	3	8
北九州	3	11	35	49
京築		8	6	14
無記入			2	2
総計	15	70	120	205

二次医療圏	在宅酸素				総計
	対応可	応相談	不可	無記入	
福岡・糸島	21	12	9		42
糟屋	4	3			7
宗像	4	1	1		6
筑紫	3	2	3		8
朝倉	3	3			6
久留米	16	3			19
八女・筑後	4	4	2		10
有明	9	5	2		16
飯塚	12	2			14
直方・鞍手	1	2	1		4
田川	4	3	1		8
北九州	18	23	7	1	49
京築	8	3	3		14
無記入		2			2
総計	107	68	29	1	205

二次医療圏	医療用麻薬			総計
	対応可	応相談	不可	
福岡・糸島	3	13	26	42
糟屋			7	7
宗像	1		5	6
筑紫		3	5	8
朝倉			6	6
久留米	3	4	12	19
八女・筑後		3	7	10
有明		7	9	16
飯塚		6	8	14
直方・鞍手		2	2	4
田川		4	4	8
北九州	3	15	31	49
京築	1	6	7	14
無記入		1	1	2
総計	11	64	130	205

二次医療圏	人工呼吸器			総計
	対応可	応相談	不可	
福岡・糸島		1	41	42
糟屋		2	5	7
宗像		1	5	6
筑紫			8	8
朝倉			6	6
久留米			19	19
八女・筑後			10	10
有明			16	16
飯塚			14	14
直方・鞍手			4	4
田川			8	8
北九州	1	2	46	49
京築			14	14
無記入			2	2
総計	1	6	198	205

二次医療圏	褥瘡			総計
	対応可	応相談	不可	
福岡・糸島	24	15	3	42
糟屋	4	3		7
宗像	5	1		6
筑紫	3	5		8
朝倉	3	3		6
久留米	18	1		19
八女・筑後	7	3		10
有明	13	3		16
飯塚	6	7	1	14
直方・鞍手	2	2		4
田川	6	2		8
北九州	21	25	3	49
京築	11	3		14
無記入		2		2
総計	123	75	7	205

経鼻栄養、MRSA、疥癬、夜間の吸引、中心静脈カテーテル (CVC)、人工透析、医療用麻薬、人工呼吸器などへの対応は少なかった。

夜間の吸引については、夜間に看護師の配置をしている施設が少ない（「7.夜間の看護師の配置状況」を参照）ことが影響していると考えられる。また、平成 27 年からは介護福祉士や一定の研修を受けた介護福祉士以外の介護職も吸引が可能となっているが、まだ施設としての対応が整っていなかったと考えられる。

それ以外の項目については、専門的な領域の部分でもあり、このような分野への教育・研修などが実施されることで、配置医師の対応へのバリアが軽減されるのではないかと考える。

Ⅱ 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）配置医師調査報告

1. 記述統計

	送付数	回答数	
配置医師数	519	213	41.0%

	回答数	
男 性	185	86.9%
女 性	23	10.8%
無記入	5	2.3%
計	213	100.0%

	回答数(複数回答)	
内科	168	57.9%
外科	30	10.3%
精神科	17	5.9%
整形外科	9	3.1%
皮膚科	1	0.3%
呼吸器科	6	2.1%
神経内科	5	1.7%
循環器科	21	7.2%
小児科	10	3.4%
リハビリ科	6	2.1%
その他	17	5.9%
計	290	100.0%

(その他診療科)

- ・放射線科 (5名)
- ・麻酔科 (2名)
- ・産婦人科 (1名)
- ・救急、麻酔科 (1名)
- ・産業医、脳外科 (1名)
- ・脳外科 (2名)
- ・心療内科 (1名)
- ・老年科 (1名)
- ・消化器科 (2名)
- ・耳鼻科 (1名)
- ・麻酔科、ペイン (1名)

全体での回答率は、41.0%であった。

回答者は男性医師が多く、内科の標榜をしている医師が多く見られた。

2. 1週間の訪問回数

	1回/週	2回/週	3回/週	4回/週	5回以上/週	無記入	総計
30代	4	4			1	1	10
40代	19	21	1				41
50代	32	23				2	57
60代	26	36	4	1			67
70代	11	13			1		25
80代	3	8			1		12
無記入	1						1
総計	96	105	5	1	3	3	213

週に2回の訪問がもっとも多く、ついで1回の訪問であった。年齢階級別に見ても各年代とも週に2回の訪問が最も多かった。中には、週5回以上の訪問を行うケースも見られた。

3. 契約形態

	医療機関との契約	常勤医	嘱託医	その他	無記入	総計
30代	6	1	3			10
40代	4	3	34			41
50代	9	4	43	1		57
60代	11	4	49	2	1	67
70代	2	5	17	1		25
80代	1	2	9			12
無記入		1				1
総計	33	20	155	4	1	213

	医療機関との契約	常勤医	嘱託医	その他	無記入	総計
1回/週	17	10	67	2		96
2回/週	14	7	81	2	1	105
3回/週		1	4			5
4回/週	1					1
5回以上/週		2	1			3
無記入	1		2			3
総計	33	20	155	4	1	213

嘱託医としての契約が最も多い形であった。常勤医としての契約も見られた。年齢で見ると常勤医には40～70代が多くみられた。常勤医であっても週1、2回の訪問であるケースも見られた。

4. 所属施設

	診療所	病院	その他	総計
30代	4	4	2	10
40代	26	15		41
50代	38	19		57
60代	44	21	2	67
70代	17	5	3	25
80代	9	2	1	12
無記入		1		1
総計	138	67	8	213

	診療所	病院	その他	総計
1回	55	38	3	96
2回	75	26	4	105
3回	5			5
4回		1		1
5回以上	2		1	3
無記入	1	2		3
総計	138	67	8	213

	診療所	病院	その他	総計
医療機関と契約	3	27	3	33
常勤医	11	6	3	20
嘱託医	120	34	1	155
その他	3		1	4
無記入	1			1
総計	138	67	8	213

普段は診療所での勤務をしているものが多く、ついで病院であった。

5. 継続意向

	30代	40代	50代	60代	70代	80代	総計
継続	3	16	26	27	14	8	94
非継続	1	9	10	13	2	1	36
無記入		1	2	4	1		8
総計	4	26	38	44	17	9	138

	医療機関と契約	常勤医	嘱託医	その他	無記入	総計
継続	2	8	82	2		94
非継続	1	1	33		1	36
無記入		2	5	1		8
総計	3	11	120	3	1	138

回答は診療所に所属している医師のみとなっている。回答者全体としては、継続意向が高くなっていた。年代別でも各年代で継続意向が高かった。

参考資料

施設用

介護老人福祉施設における医療体制アンケート

※選択肢に該当する項目には、を記入してください

【貴施設の基本情報】

- 1.施設名：〔 〕
- 2.住 所：()
- 3.定員数： 従来型多床室 () 床、 従来型個室 () 床、
ユニット型個室 () 名
- 4.職員数： 総数 () 名
内訳：看護師 () 名、介護スタッフ () 名、リハスタッフ () 名、
相談員 () 名、事務職 () 名、その他 () 名
- 5.施設入所者平均要介護度
平均要介護度：()
- 6.配置医師数、医療機関名、診療科
配置医師数：() 名
医療機関名：〔 〕
診療科：()
常勤医の有無：有、 無
精神科医加算の有無：有、 無
- 7.協力医療機関数、医療機関名、診療科
協力医療機関数：() 箇所
医療機関名：〔 〕

【医療行為を要する方の受け入れ状況】

- (1) 経管栄養：胃瘻（対応、 応相談、 不可）
：経鼻（対応、 応相談、 不可）
- (2) 導尿カテーテル（対応、 応相談、 不可）
- (3) 人工肛門（対応、 応相談、 不可）
- (4) インスリン注射（対応、 応相談、 不可）
- (5) MRSA（対応、 応相談、 不可）
- (6) 疥癬（対応、 応相談、 不可）
- (7) 吸引：日中（対応、 応相談、 不可）
夜間（対応、 応相談、 不可）
- (8) 点滴（対応、 応相談、 不可）
- (9) 中心静脈栄養（対応、 応相談、 不可）
- (10) 人工透析（対応、 応相談、 不可）
- (11) 在宅酸素療法（対応、 応相談、 不可）
- (12) 医療用麻薬（対応、 応相談、 不可）
- (13) 人工呼吸器（対応、 応相談、 不可）
- (14) 褥瘡（対応、 応相談、 不可）

【その他ご意見があれば記載願います。】

配置医師用

介護老人福祉施設における配置医師業務アンケート

※選択肢に該当する項目には、を記入してください

【配置医師に関する基本情報】

1. 施設名 ()
※配置医師となっている介護老人福祉施設名を記載ください。
2. 性別： 男、 女
3. 年齢：20歳代 30歳代、 40歳代 50歳代 60歳代
70歳代 80歳代 90歳代
4. 主な専門診療科
内科、 外科、 精神科、 整形外科、 外科、 皮膚科、
呼吸器科、 神経内科、 循環器科、 小児科、 リハビリテーション科、
その他 ()

【配置医師の状況】

- (1) 配置医師の所属する医療機関について伺います。
病院、 診療所、 その他 ()
- (2) 配置医師の契約状況について伺います。
常勤医、嘱託医、 医療機関との契約（病院勤務医師の派遣）、
その他 ()
- (3) 配置医師の1週間の定期診察回数について伺います。
1回、 2回、 3回、 4回、 5回以上
- (4) 配置医師の1回における平均的な定期診察時間について伺います。
1時間以下、 1～2時間、 2～3時間、 3～4時間、 4時間以上

- (5) この1ヶ月間の定期診察でない(急な)、診察回数について伺います。
(日中) 対応不可、 1回、 2回、 3回、 4回、 5回以上
(夜間) 対応不可、 1回、 2回、 3回、 4回、 5回以上
- (6) 介護老人福祉施設(特養)から配置医師への一般的な電話連絡状況について伺います。
所属医療機関へ連絡、 配置医師の携帯電話に連絡、 連絡不可、
その他 ()
- (7) 介護老人福祉施設(特養)から配置医師への電話連絡回数(1週間)について伺います。
(日中) 概ね平均 (0回 ・ 1~2回 ・ 3~5回 ・ 5~10回 ・ 10回以上)
(夜間) 概ね平均 (0回 ・ 1~2回 ・ 3~5回 ・ 5~10回 ・ 10回以上)

【配置医師の業務について】

- ① 急変時の往診対応について伺います。
24時間365日対応、
平日の日中のみ対応、
対応不可
その他 ()
- ② 自院での診療中に往診依頼があった場合の対応について伺います。
常時対応可能
診療終了後に対応
対応不可能
その他 ()
- ③ 家族へのインフォームドコンセントについて伺います。
定期診察時に対応、
診察時以外でも対応、
対応不可
その他 ()

- ④ 医療機関への紹介状況について伺います。
- 原則として協力医療機関のみ紹介、
 - 適応に応じて協力医療機関以外も紹介、
 - 施設側が紹介対応しているため不明
 - その他 ()

- ⑤ 施設職員への医療的研修について伺います。
- 定期的に行っている
 - ときどき行っている
 - 行っていない
 - その他 ()

- ⑥ 施設内での定期診察以外のケアカンファレンスの出席について伺います。
- 定期的に出席している
 - ときどき出席している
 - 出席していない
 - その他 ()

- ⑦ 主治医意見書の作成について伺います。
- 原則として全員分作成している
 - 専門内の疾患の入所者分を作成している
 - 作成していない
 - その他 ()

- ⑧ 施設内での看取り対応について伺います。
- 看取りを行っている
 - 看取りを行ってない
 - その他 ()

⇒「看取りを行っている」と回答された方に伺います。

i. 年間看取り件数： 概ね () 件数

ii. 深夜や休日の看取り対応はどうされていますか。

()

